

2023年度 通所「あかしあ」自己評価

日頃より、通所「あかしあ」の運営にご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

この度、児童発達支援・放課後等デイサービスのガイドラインに基づき、自己評価をさせていただきますため、利用者様・ご家族様及び職員へのアンケート調査を実施させていただきました。

「あかしあ」は、生活介護も含めた多機能型事業所ですので生活介護の利用者様・ご家族様にもアンケートにご協力いただき、その結果も踏まえた自己評価となっております。

調査期間 2024年1月26日～2月26日

回答率 45名中45名（100%）

環境・体制整備

職員配置については、基準通り配置することができましたが、感染症の関係で複数の職員が欠勤せざるを得ない状況になった場合には、職員数に合わせて利用を控えていただくことができました。急なお願いにも関わらず、ご対応いただいた皆様には感謝申し上げます。

設備面では、スピーカーを新たに2ヶ設置し、音楽活動等に活用することで活動の幅を広げることができました。活動で使用した遊具や用具は、使用の都度消毒を行い、利用者さんが安心して活動いただけるよう感染予防に努めました。

感染症への対応としては、昨年度に引き続き、利用者さん同士の距離間への配慮、定期的な換気などで利用者さんが濃厚接触者にならないよう配慮しました。

職員研修についても「医療安全研修」、「感染対策研修」、「障害者虐待防止研修」等を受講することで専門的知識の習得に努めました。

適切な支援の提供

個別支援計画の面談については、感染症の流行状況を鑑み、3年振りに開催させていただくことができました。対面でお話する中で様々なご要望やご質問をいただくことができ、貴重な機会であったと考えます。今回の障害福祉サービス等報酬改定において、児童の方の個別支援計画作成に当たっては、5領域（「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」）とのつながりを明確化した支援内容が求められています。個別性と5領域を念頭に置きながらの計画作成とサービス提供に努めたいと思います。

療育活動・行事は、季節を感じてもらうことを意識しながら、「ハロウィン」、「クリスマス会」、「書き初め」をはじめとした活動を行いました。職員の創意工夫による工作物で活動を楽しんでいただくこともできました。

外部の方との関わりという点では、感染症の関係で未だボランティアの受け入れができませんが、社会福祉援助技術実習の学生と療育活動等を通して交流、コミュニケーションを図る機会

を設けることができました。また、2023年11月15日には、アルビレックス新潟の選手が来院するイベントがあり、記念撮影等、楽しい時間を過ごすことができました。

保護者への説明等

新潟県重症心身障害児（者）を守る会 あかしあ分会主催の「保護者の集い」、「懇談会」に出席、保護者の方々のご要望等をお聞きする機会をいただくことができました。今後もあかしあ分会会長、保護者の皆様との連携を図っていきたいと考えます。

送迎等で「あかしあ」に來られた際や利用時の連絡帳への記載、電話連絡など、ご要望やお気付きの点がありましたら、スタッフまでお伝えください。

日にち	大会名	場所
2023年7月13日（金）	『重症心身障害児・者 保護者の集い』	ラベンダーボール
2023年11月9日（木）	『懇談会』	ラベンダーホール

非常時の対応

1月1日の能登半島地震では、あかしあ利用者さんにも家屋が被災した方がいらっしゃったとうかがっております。心よりお見舞い申し上げます。

災害への備えとして昨年5月には、『災害カード』の作成と携帯、予備薬の持参についてお願いをさせていただきました。任意のお願いではありましたが、多くの方よりご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

報酬改定において、感染症や非常災害時の業務継続計画の策定が求められています。利用者さん、ご家族が安心して「あかしあ」をご利用いただけるよう取り組んでいきたいと思っております。

満足度

「送迎」については、皆様のご要望にお応えしきれていない現状ではありますが、限られた資源、体制の中で調整を図っております。

「入浴」については、キャンセル待ちの対応などできる限り、ご要望に応えられるように努めております。

この度は、ご多忙の中、アンケートにご協力いただきまして感謝申し上げます。

全ての方から回答をいただけたことを嬉しく感じております。

今回いただいた、ご意見・ご要望に基づき、職員間で情報を共有し、利用者さん・ご家族の立場に立った支援を提供したいと考えます。今後とも通所「あかしあ」への変わらぬご理解、ご協力をお願いいたします。

2024年3月1日

独立行政法人国立病院機構 西新潟中央病院
療育指導室長 浅妻 濃